

聞いてみよう。表現者の**本音**。

～「表現の不自由展・その後」は、 なぜ、中止に追い込まれたのか～

考えてみよう
私たちの未来の
リアルな日常2



兵庫県弁護士会メーヅ キャカ
ヒマリオン Since2001

2019年8月、あいちトリエンナーレで展示されていた「表現の不自由展・その後」が、テロ予告や脅迫、嫌がらせ電話などの妨害や政治家の圧力によって中止に追い込まれ、大きなニュースになりました。

言論・表現の自由は、憲法によって保障された基本的人権です。ことに、政治およびその他の公共問題に関する表現は民主主義の原動力であり、みだりに制限されるべきではありません。

「表現の不自由展・その後」は、なぜ、中止に追い込まれたのか、表現者の側につきつけられたことは何だったのかを、企画にあたった当事者からそれまでの経緯を含めて何うとともに、この事件が、私たちの社会にどのような影響をもたらすのかについて、ご一緒に考えましょう。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

撮り下ろしDVD!

～・～プログラム～・～

第1部 コント上映／ザ・ニューズペーパー

1988年、国内外の政治、経済、芸能…モロモロの社会情勢を笑いに転換すべく結成したコントグループ。笑いながらニュースの裏に隠された社会の本質が見えてきます!



ザ・ニューズペーパー

※DVD出演はこの内2～3名です

第2部 講演／永田浩三氏（「表現の不自由展」実行委員会共同代表／武蔵大学教授）

1977年～2009年 NHKにおいて、「クローズアップ現代」「NHKスペシャル」など、ドキュメンタリー、教養・情報番組の制作に携わる。芸術作品賞・放送文化基金賞・菊池寛賞など受賞。2009年～武蔵大学社会学部メディア社会学科教授。映画『命（ぬち）かじり・森口谿沖繩と生きる』（2020年10月）の監督。



永田浩三氏

日 時：2020年（令和2年）11月14日（土）午前10時～正午

開催方法：Zoomによるオンライン開催

〔当日は弁護士会館にお越しいただいてもご参加いただくことはできません。〕

参加費不要・定員500名

申込方法：申込フォームからお申込みください。申込期限：11月8日（日）

参加方法等は、申込フォームでご入力いただいたメールアドレス宛にメールでご連絡いたします。
11月9日までにメールが届かない場合は、11月12日までに兵庫県弁護士会までお問い合わせください。

申込フォーム：<https://ws.formzu.net/dist/S21594938/>
QRコードからアクセスしていただくこともできます。



主催：兵庫県弁護士会 共催：日本弁護士連合会・近畿弁護士会連合会（予定）
お問い合わせ先：兵庫県弁護士会 TEL：078-341-7061